



Tokyo Tech

2019年12月17日

報道機関各位

東京工業大学広報・社会連携本部長

佐藤 勲

全大学院生を対象にデータサイエンス・AI教育を実施

- Yahoo! JAPAN等と協力し、社会的課題を解決できる高度な専門人材を育成 -

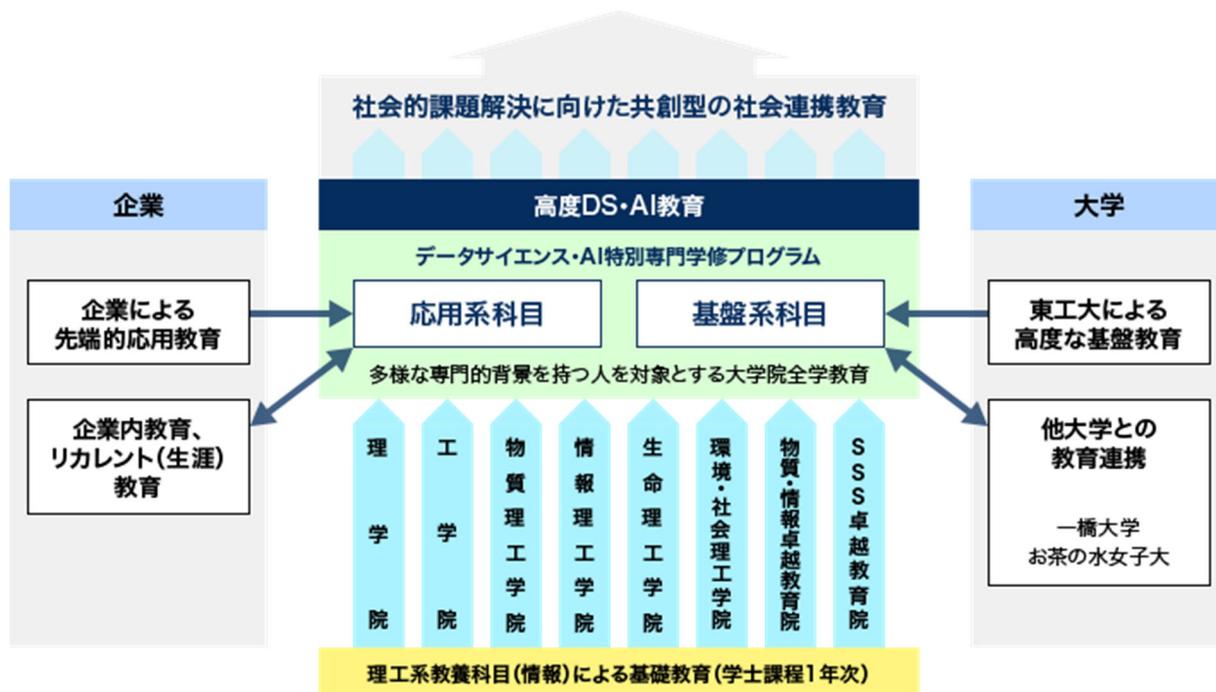
東京工業大学は2020年度より、全ての大学院生を対象にデータサイエンス（DS）と人工知能（AI）の教育を開始します。教育実施にあたってはYahoo! JAPANや国内外のグローバル企業と協力し、大学院生が持つ高度な専門知識とDS・AIを組み合わせ、社会的課題解決や新産業創出に貢献できる人材育成を図ります。

AI人材の不足が叫ばれる現在、各大学においては文系を含めた学部生に対してAIリテラシー教育の導入が進みつつあります。本学は理工系総合大学として、かねてより学士課程1年次の学生への情報基礎教育を実施してきた歴史があり、このような背景の中で、このたび、物質理工学、環境・社会理工学、生命理工学、機械工学、電気電子工学、制御工学、経営工学など、全ての大学院レベルの高度な専門分野を学ぶ学生に対して、DS・AIの核となる素養を身に付けさせる高度情報教育を日本で初めて開始します。DS・AIを単にツールとして使うだけでなく、それらを相互に共有することで専門分野の境界を越えた連携や共創を可能にし、最先端の研究開発や社会実装を推進できる高度な人材育成を目的としています。

具体的には「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」と名付けた専門のコースを開設し、DS・AIの基盤系科目と応用系科目の教育を行います。授業と演習を対で行い、要件を満たす単位を取得した学生には、修了時に学長名の修了証書が授与されます。

基盤系科目は本学の情報理工学院が中心となり、全学院の教員も参画して、ビッグデータ処理、AIプログラミング、深層学習などを教育します。応用系科目では、実社会での課題をテーマに、Yahoo! JAPANや国内外のグローバル企業からの講師による実践的な授業と演習を実施します。

本プログラムは2019年度第4クォーターの2019年12月からトライアル授業を開始し、2020年度第1クォーター（2020年4月）から本授業を開始する予定です。



また、本プログラムは、一橋大学やお茶の水女子大等との連携を行い、各大学でのDS・AI教育にも協力していきます。さらに、企業内研修や社会人向けにリカレント（生涯）教育へも展開していく予定です。

以上

【問い合わせ先】

東京工業大学 広報・社会連携本部 広報・地域連携部門

TEL : 03-5734-2975

E-mail : media@jim.titech.ac.jp